



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第15号

2025年9月14日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「2025 夏休みわくわく算数・数学教室」感想まとめ

「2025 夏休みわくわく算数・数学教室」の児童生徒の感想、そしてSPさんの感想を読ませていただきました。とても素敵な内容だったので、通信を通じて共有します。子どもたちの感想で一番多かった言葉は「楽しかった」でした。わく算の一番の目標をどのSPさんも達成してくれていたのだと感じました。また、SPさんの感想にはたくさんの“反省”と次への“意欲”にあふれていました。上手くいったこと、上手くいかなかったこと、たくさんあったと思いますが、それを子どものせいにするのではなく、「自分の力不足」「次はこうしてみた方がいいかも」といった言葉がたくさんありました。目の前の子どもたちを一生懸命“見よう”、“目の前の子がなんとか分かる（できる）ようにしよう”としてくれたからそう思えるのだと思います。現場でもわく算で感じたその気持ちを忘れず、一人ひとりを大切できる先生になってほしいなあと思います。

児童・生徒の感想

<1年生>

- ★ 楽しかった。難しかった。花丸を6こもらえて嬉しかった
- ★ 今日は難しい問題をやったけど、やってみたらできて楽しかった。

<2年生>

- ★ 難しいところがあったけど、ちょっとだけ勉強が楽しくなりました。これからも勉強頑張ります。
- ★ 時計・リットル・長さが楽しかったです。算数が好きになりました。また来ます。

<3年生>

- ★ 今日までで48枚やれたので嬉しかったです。苦手だったひっ算の足し算と時刻と時間をたくさんやって、できるようになりました。
- ★ 掛け算がすごく苦手だったけれど、難しいプリントを何枚かやって、少しずつスムーズに解けるようになった気がします。またわくわく算数教室に来たいです。

<4年生>

- ★ とても頑張りました！Y先生と勉強できて楽しかったです。
- ★ 小数がいろいろできて楽しかったです。算数が得意になった気がします。

<5年生>

- ★ 先生の説明が分かりやすかったです。算数をもう少し頑張ろうと思いました。2学期の算数も頑張ります。
- ★ 計算ミスが少なくなった気がして嬉しかったです。普段だったら「やりたくない」と思う割り算も、今日は楽しくできました。

<6年生>

- ★ 割合などで途中式を省略しないことが大切だと分かりました。「何%引き」や「何%増し」の時は、1に足したり引いたりすることが分かり、割合の問題が前より解けるようになりました。
- ★ 1学期に習った事をほとんど復習できました。今6年生なので、あと少しでわく算に参加できなくなります。冬休みも絶対参加したいです。

<中学生>

- ★ 文字式の掛け算と割り算が分からなかった時にSPさんに教えてもらい、分かるようになりました。前よりも答える早さが早くなったと思います。正の数・負の数もいろいろなところが分かるようになり、算数・数学が面白いと気づきました。
- ★ 家だとあまり集中できなかったけれど、わくわく数学教室ではすごく集中できて、勉強がしやすかったです。先生も僕が分からなかった時に教えてくれて、その上分かりやすくて、とても楽しかったです。また参加したいです。
- ★ この3日間で多くの復習ができました。学校の勉強にもついていけるようになったと思います。
- ★ 方程式が分からなさ過ぎてダメだと思っていましたが、N先生の教え方が丁寧で分かりやすかったです。ありがとうございました！

SPさんの感想

～ 19大学 78名が参加 ～

3人を担当した時は、丸つけや印刷、教えることがなかなかスムーズにできませんでした。しかし、子どもたちも自分自身もだんだん慣れてきたら、すぐに問題に取り組みたり、子どもの方からたくさん話してくれたりしたので嬉しかったです。活動を通して実際に子どもと関わり、たくさん貴重な体験ができました。自分の中で何になるか迷っていた部分もありますが、また少し教員になりたいという気持ちが強まりました。また参加したいです。 【名古屋学芸大学 2年】

子どもが学習したことのない範囲を教えることになり、一から教えることの難しさを痛感しました。しかし、最初は全問間違えていた問題をスラスラ解けるようになり、最後には全問正解できたので、その時は嬉しさや達成感が限界突破しました！今日で最後の参加になりますが、予定がなければもっと参加したかったと感じています。冬や来年の夏も参加して、より多くの子どもたちと触れ合い、子ども一人一人に合わせた指導ができるよう力をつけたいです。 【東海学園大学 2年】

午前の2人は静かな子で、コミュニケーションを取るのに苦労しました。もっといろいろ話をし、雰囲気づくりができれば良かったです。午後の2人はつまずくところはあったものの、少しずつできるようになってくれました。感想には「たくさんできて嬉しかった」と書いてあったので、すごく感動しました。午前の子も、「算数が好きになった」と書いてくれて泣きそうでした。

【日本福祉大学 3年】

今日は小学3年生と2年生を担当しました。3年生の3人の子はとても元気だったので、勉強と休憩のメリハリをつけることが大変でした。3人まんべんなく視線を送って見るのが大切だと思いました。午後は小学生ながら中3や高1の数学の内容に取り組んでいました。知的好奇心が旺盛なので、好きなことをやらせてもらうことがその子のためになると思い、見守っていました。

【名城大学 4年】

普段泣きながら来る子が、今日は泣かずにわく算に来てくれました。途中、集中が切れてしまいましたが、集中している時は間違えた問題があっても嫌にならずに真剣に取り組んでくれました。引き算の問題ばかり取り組んでいたの、足し算の問題を解かせてみると走り回るのをやめたので、タイミングを見計らって自然と学習へ意識を向かせることの大切さを実感できました。午後は中学1年生の担当をしました。昨日とはまた雰囲気異なり、一人ひとりつまづいている所は違ったので、その子にあった対応をすることが大切だと思いました。 【金城学院大学 4年】

中学2年生4人を担当しました。4人とも終始集中して取り組んでおり、それぞれが自分の課題に前向きに挑戦していました。学習の際には、2人ずつペアになり、互いに教え合ったり答えを確認し合ったりする様子が見られました。自然と会話が生まれ、分からない部分を助け合いながら解き進めており、楽しさと学びが両立した活動となりました。協働的に学ぶ中で理解を深め、算数・数学の面白さを実感している様子が伝わってきました。 【大同大学 4年】

「時刻と時間」という単元に苦手意識があるようだったので、その単元を中心に学習しました。ボールペンで大きく時計を書いて、鉛筆で針を書いたり消したりできるようにし、分かりやすく教えることができたと思います。また、教えるだけでなく、児童にも時計の針を書かせて、一緒に学習することもでき、児童も分かる笑顔になってくれたのを見て良かったなと思いました。わく算で学んだ児童への対応などをウィークリーSP活動にも活かしていきたいです。 【愛知淑徳大学 2年】

今日の午前は、小学3年生を担当しました。計算が多くて2人とも大変そうでしたが、少しアドバイスやヒントを渡すと、理解して解き進めてくれました。ヒントを出す時はただ答えを言うだけでなく、自分から「そうだ！」と気づけるように意識しました。午後は、中学2年生を担当しました。連立方程式の計算部分に加えて、利用の範囲も解説しました。何を $X \cdot Y$ と置くのかを悩んでいたの、考え方を分かりやすく伝えるよう心掛けました。先輩SPさんともたくさんお話ができて、教え方など学ぶことも多かったので、次回に生かしていきたいです。明日も積極的に動いていきます。 【愛知教育大学 2年】

今日は初めて1年生を担当しました。片葩小でない子もいたので、しっかり声をかけることを意識しました。足し算はできるけれど、所々引き算で困っている場面があったので、手を使ったり丸を書いたりしながら一緒にやってみると答えてくれました。感想には「楽しかった」「面白かった」と書いてくれたので、「特に何が面白かった？」と聞いてみたら「全部！」と元気いっぱい答えてくれて嬉しかったです。1年生ということもあり、ひらがなやカタカナも練習中だと感じたので、問題を読むときや説明するときも言葉選びなど留意する必要があると感じました。また、他のSPさんの様子を見ることも勉強になりました。 【名古屋大学 3年】

今日は昨日の反省を生かして、スムーズにいろいろな問題を教えることができました。一方で、難しい問題の教え方に苦労しました。大学生の自分は頭の中で考えることができても、中学生を相手に分かりやすく教えるためには、簡単に言語化する必要があると感じました。SP活動は今日で終わりですが、今回の体験をこれから生かしていきたいです。 【愛知大学 3年】

担当した子がとても楽しそうに取り組んでいたの、私自身も楽しく参加できました。「割合」と「単位量当たりの大きさ」は私も苦手だった単元で少し身構えてしまいましたが、私の説明を一生懸命聞いてくれる姿に励まされました。残り2日間も、まずは私が楽しんで、子どもたちと過ごせたらと思います。 【中部大学 3年】

はじめは児童が眠そうにしていたり、何がやりたいかなどの会話があまり進まなかったりしたので少し不安でしたが、時間が経つにつれて会話しながら楽しく学習を進めることができました。数十分の間でも、子どもの成長を感じることができました。午後はたくさん話しながら楽しく勉強することができました。しかし、初めに児童自身が決めた目標よりも進めることができなかつたので、もう少し時間配分を考えながら進めていくことが大切だと思いました。 【岐阜聖徳学園大学 3年】

2回目の担当の子だったので、どんな子が把握できていてすぐに勉強に取り掛かることができました。何をやりたいかを一緒に決めて、その子のペースに合わせて進めるよう意識しました。また、何が得意なのかを理解することで、楽しく進められました。集中が切れてしまった時は、その子が今楽しいと思えることを自分も一緒に楽しんだり、1年生なのでまずは着席できていることをほめることを意識したりしていました。 【名古屋芸術大学 3年】

算数を楽しいと思ってもらえるように褒めることを意識しました。1年生の児童の感想に「たくさん完璧で楽しかった」と書かれていて、成果を感じることができました。午後は、足し算か引き算かを判断する文章問題で、ポイントを教えました。児童の「わかった」「できた」瞬間を一緒に過ごすことができました。今日は2人の児童と関わりましたが、一人一人の個性の違いを感じました。勉強面だけでなく、好きなことや性格など、1対1でしっかり関わったことで理解できました。少人数であれば対応できますが、もっと人数が増えた時に対応できる力をつけるため、児童と関わるチャンスに積極的に参加していきたいと思っています。 【名古屋学国語大学1年】

6年生にもなると自分で進めることができたので、分からない問題や間違えた問題を中心に教えました。子ども自身からあまり話をするのではなく、コミュニケーションを取るのが難しかったです。また、課題に飽きてしまいやすい子もいたので、休憩を取り入れながらメリハリをつけるよう意識しました。子ども目線で、一人ひとりに合わせて教え方を変えられるようにすることが今後の課題です。 【愛知学院大学 1年】

初めてのわく算で、最初不安でしたが、担当した3人の子が事前に決めてきた「やりたいこと」を積極的に進めていて、自分も楽しく教えたり一緒に学んだりできました。難しい文章問題を一緒に考えることが多かったため「分からない」と言われた時に待ってもらう時間が多くなってしまったので、次回はその点に気を付けて取り組みたいです。 【中京大学 3年】

とても静かな子でどのように話したらよいのか分からず、とにかくいろいろ声をかけてみたらだんだん話してくれるようになりました。緊張をほぐすことがとても難しく感じました。午後の子はよく話してくれる子で、午前の反省を生かして自分から話題を出しました。子どもから話を出してくれたら聞き手となるようにしました。子どもとのコミュニケーション方法はいろいろあると感じたとともに、分かりやすく教えることはとても難しかったです。 【椋山女学園大学 1年】

今回がSP活動2回目でした。前回の反省点である「話題をたくさん出す」ということをしっかり行動にできたと思います。話をたくさんすることで、子どもが質問しやすい環境を作れたのではないかと思います。今回は2回しか参加できませんでしたが、次の機会にもまた参加したいです。 【名古屋学院大学 1年】

時間が経つのが早く感じるほど楽しく活動することができました。冬にまたあると聞いているので、今回1日しか参加できなかった分、冬はもっと活動したいと思っています。その時には、今回の反省を生かしてより良い指導ができるようにしていきたいと思っています。 【至学館大学 3年】